



令和4年度

決算報告

9月の定例議会で、令和4年度の一般会計と2つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

問い合わせ 総務課

長期化するコロナ禍や物価高騰に見舞われた1年間

令和4年度は、長期化する新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻を一因とする原油価格や原材料価格の高騰が、住民生活や地域経済に大きく影響した年となりました。

国の制度に加えて町独自の取り組みを実施

前年度に引き続き、医療機関と連携してワクチン接種を推進したほか、急増する自宅療養者への支援など、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みしました。

物価高騰に対しては、国の制度に基づく原油価格・物価高騰への取り組みを進める一方、町独自の取り組みとして、水道料金の減額や売上が減少している事業者への支援金の給付など、さまざまな対策を行いました。

未来に続く岡垣町のために

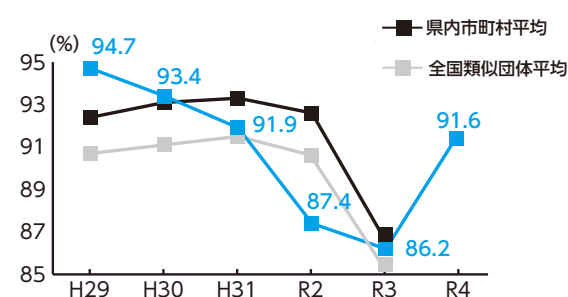
感染防止対策を徹底しながら、町制施行60周年記念式典や3年振りのまつり岡垣を催しました。

また、新たに「おかがきPR課」を設置し、ブランド戦略を策定したほか、海老津駅前周辺環境整備事業の実施など、持続可能なまちづくりのための施策を行いました。

決算の概要

一般会計決算額の実質収支は、収入と支出の差引額から令和5年度に繰り越す必要がある財源の8618万円を除き、6億5448万円となりました。

図1 経常収支比率の推移



経常収支比率
って何？

経常収支比率とは、財政状況の余力を示す数値のことです。人件費などの経常的に支出される経費と、町税などの経常的に収入される一般財源との比率で、数値が低いほど財政状況に余力があるとされています。

収入の状況

令和4年度の収入総額は129億9,549万円となり、前年度から1億6,610万円増加しました。

【自主財源】

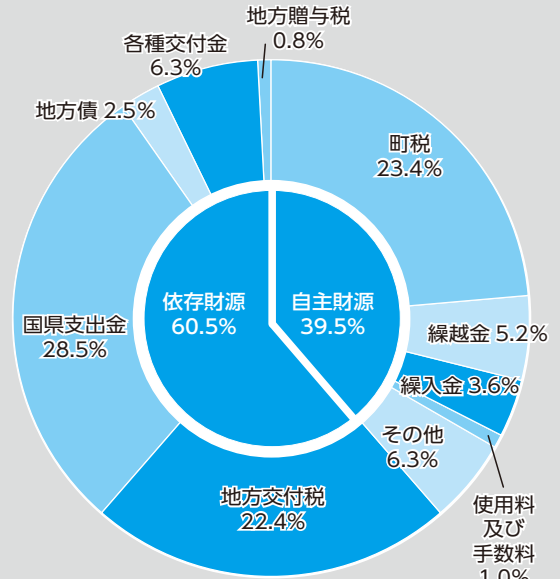
町民税や固定資産税などの町税が増加しました。また、サンリーアイをはじめとする公共施設の使用料やふるさと納税による寄附金も前年度に引き続き増加しました。

【依存財源】

地方交付税や地方消費税交付金が増加しました。国庫支出金は子育て世帯への臨時特別給付金事業に関する補助金の減少の影響で大幅に減少し、金融機関からの借入金である町債も減少しました。

自主財源…町税など、町が自主的に収入できる財源のこと。

依存財源…国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入。



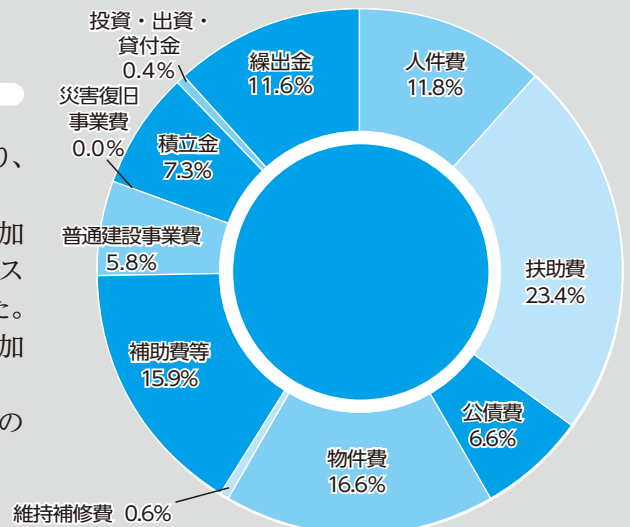
一般会計収入総額 129億9,549万円

支出の状況

令和4年度の支出総額は122億5,482万円となり、前年度から9,544万円増加しました。

前年度に比べ、町債の返済金にあたる公債費が増加したほか、水道料金の減額などの新型コロナウイルス感染症対策事業の実施により補助費が増加しました。また、おかがき応援寄附金額の増加に伴う経費の増加の影響で、物件費も増加しました。

一方、子育て世帯への臨時特別給付金の事業費の減額により扶助費が大きく減少しました。



一般会計支出総額 122億5,482万円

単年度収支とは？

実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額です。実質収支中には前年度以前の収支残があるため控除し、当該年度だけの収支を算出します。

実質単年度収支とは？

財政調整基金への積立金や取り崩しによる繰入金などを取り除いた単年度収支です。

表1 単年度収支の算出

	令和3年度(A)	令和4年度(B)
実質収支	6億7,000万円	6億5,448万円
単年度収支額(C) (B - A)	2億1,950万円	△1,552万円
財政調整基金積立額(D)	233万円	274万円
財政調整基金取崩額(E)	-	-
実質単年度収支額 (C+D-E)	2億2,184万円	△1,278万円

※数値の表示単位未満を四捨五入しているため、差引額などが一致しないことがあります。

自然を守り、活かし交流を生むまち

■三里松原と美しい海岸の保全事業——340万円

三里松原防風保安林保全対策協議会と連携して松葉かきを実施したほか、ラブアースクリーンアップや国・県に対して三里松原保全に関する要望活動を行いました。

- その他
 - 荒廃森林整備事業 632万円
 - 公園等管理事業 2,338万円
- など



地域資源を活かし発展するまち

■有害鳥獣対策——747万円

捕獲に対する補助や緩衝林の整備など、有害鳥獣対策を実施しました。

■観光推進事業——1,670万円

岡垣町観光協会が行うフルーツライドといった体験プログラムの創出など、観光商品の開発を支援しました。

- その他
 - 就農支援事業 615万円
 - ため池維持補修等事業 251万円
- など



人・つながりが育つまち

■待機児童解消対策——2億798万円

保育士を確保するための取り組みのほか、保育定員の拡大を図るため認定こども園の施設整備の補助を行いました。

■出産・子育て応援事業——2,383万円

アンケートや面談の実施により、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談できる体制を整え、さまざまなニーズに合わせた支援につなぐための取り組みを強化しました。

■教育環境整備事業——9,795万円

ICT支援員の配置などの教育環境の整備により、社会情勢の変化に対応した能力の育成を図りつつ、教育相談・指導体制の充実にも取り組みました。

- その他
 - サンリーアイ遊具設置 1,000万円
- など



誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

■福祉総合計画策定——173万円

福祉分野の計画を総合的に見直すにあたり、アンケートなどを実施し、現状の分析を行いました。今後、この結果をもとに新たな福祉総合計画の策定を行います。

■その他

- 地域医療施設等対策事業 502万円
- 認知症施策推進事業 163万円

など



安全・快適に暮らせる持続可能なまち

■交通安全対策事業——5,588万円

子どもたちが安全に通学できるよう、通学路の歩道拡幅工事などを行いました。

■岡垣町立地適正化計画策定——1,124万円

住む人にとって快適で安全・安心な生活環境を実現・維持するとともに、財政面や経済面でも持続可能なまちづくりを目指し岡垣町立地適正化計画を策定しました。

■危機管理専門員の設置——494万円

町の災害対応能力を強化するとともに、自主防災組織の活動支援により地域防災力を向上させるための危機管理専門員を配置しました。

■その他

- JR海老津駅周辺用途地域の一部見直し 289万円
- コミュニティバス・乗合タクシーの運行、オンデマンド交通システムの導入 1億943万円

など



計画推進の基盤

■PR戦略推進——417万円

町の魅力をPRする「おかがきPR課」の新設、戦略的な情報発信に向けたブランド戦略の策定など、定住人口等を増加させるための取り組みを行いました。

■その他

- まつり岡垣補助金 502万円
- コミュニティ活動支援 731万円

など



ワクチン接種

岡垣サンリーアイなどでの集団接種のほか、町内の一部の医療機関での個別接種を行いました。



【主な内容】

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
1億8,583万円
- ワクチン個別接種実施協力金事業
1,031万円

生活支援

経済的な負担を軽減するため、給付金事業などを行いました。

【主な内容】

- 水道料金減額と井戸使用世帯支援
2億6,440万円
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業
1億8,428万円
- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業
6,800万円

教育・子育て支援

子育て世帯の経済的負担を軽減するための給付金事業などを実施しました。

【主な内容】

- 低所得者の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業
1,897万円
- 学校給食材料費高騰対策事業
613万円
- 保育所等物価高騰対策事業
174万円



新型コロナウイルス 感染症・物価高騰 に関する対策

国や県からの補助金などを活用し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に関する事業を実施しました。事業の一部を紹介します。



事業者支援

コロナ禍で経済活動を制限された事業者を支援するため、町独自の緊急経済対策を行いました。



【主な内容】

- プレミアム商品券の発行補助
4,841万円
- プレミアム付住宅リフォーム等商品券事業
1,500万円
- 中小事業者等支援金事業
5,539万円
- 原油高騰緊急対策運送事業者等支援金事業
340万円
- 原油高騰緊急対策農漁業者支援金事業
615万円

令和4年度

公営企業会計・特別会計

2つの公営企業会計と2つの特別会計の令和4年度決算額をお知らせします。

公営企業会計

水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	5億7,901万円	2,979万円
支出	5億416万円	3億5,465万円

町自慢の水を安心して使ってもらうための会計です。主な収入は水道料金で、主な支出は水道の施設工事費や浄水場・配水池の維持管理費です。

下水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	8億3,660万円	2億5,736万円
支出	8億3,319万円	4億8,919万円

家庭から出る汚水を処理し、生活環境を清潔に保つための下水道の整備や維持管理を行うための会計です。主な収入は下水道使用料や受益者負担金、一般会計からの繰入金で、主な支出は下水道の施設工事費や浄化センターの維持管理費です。

※収支金額は税抜きの金額。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

特別会計

国民健康保険事業

収入	34億3,495万円
支出	31億143万円

国民健康保険加入者の保険給付や保健事業を行う会計です。主な収入は国民健康保険税や県からの補助金、一般会計からの繰入金などです。主な支出は保険給付費や国民健康保険事業費納付金などです。

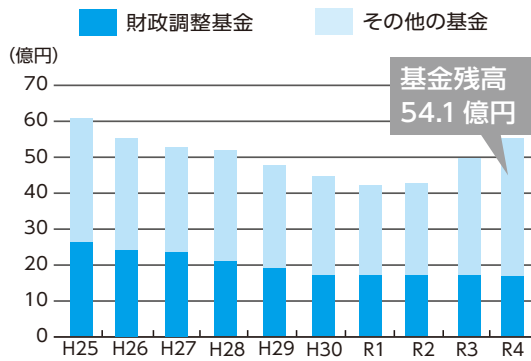
後期高齢者医療事業

収入	6億2,603万円
支出	6億259万円

後期高齢者医療制度の保険料の徴収などを行う会計です。主な収入は後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金で、主な支出は後期高齢者医療広域連合への納付金です。



図2 基金残高の推移



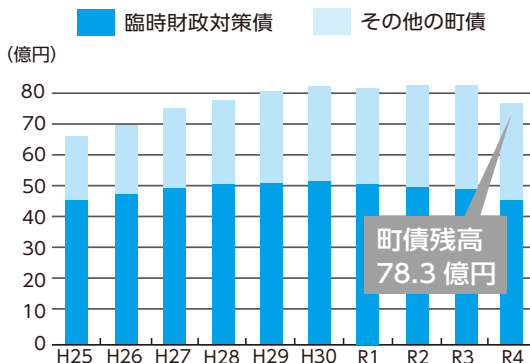
基金と町債

基金残高の推移は図2のとおりです。令和4年度は、基金から4億6734万円取り崩しましたが、積立額が8億9304万円となくなったため、基金残高は前年度末と比較して4億2570万円増加し、3年連続で増加しました。

町債残高の推移は図3のとおりです。令和4年度の町債借入額は、前年度末と比較して4億218万円減少し、3億2515万円となり、町債残高は4億6538万円減少しました。



図3 町債残高の推移



今後に向けて

今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動が両立できるよう取り組むとともに、依然先行きが不透明な物価高騰については、引き続き、町の財政への影響や国の動向などを注視しながら、状況に応じて適切に対応していきます。

また、「持続可能なまちづくり」を実現するため、今後も町税やおかがき応援寄附金をはじめとする自主財源の確保や事務事業の見直しを継続するとともに、長期的な視点による効率的で健全な財政運営を行います。